

2019年10月20日(日)朝10:10～  
10月第3共同主日礼拝式説教

主の聖霊降臨節第20、自由交歓会等  
日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：**狼の中に派遣される羊・使徒(16節)**

聖書:マタイ 10章16～20節

＜口語訳＞

新約聖書14～15頁

マタイ 10章16～20節

＜新共同訳＞

新約聖書18～ 頁

マタイ 10章16～20節

＜新改訳第3版＞

新約聖書18～ 頁

マタイ 10章16～20節

＜塚本訳＞

新約聖書94～ 頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
  - ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓・説教と表現される箇所です。
  - ◇本日の**マタイ10:16～20**は、主が「**12使徒の派遣**」にあてり、「**迫害の予告**」をし、同時に、主の**聖霊の助け**が与えられることを約束された箇所です。
- ⇒マルコ(6:30)、ルカ福音書(10:1、9:10)によると、「**12使徒の派遣**」は、新たな宣教団派遣に先立つ基盤づくりですが、**マタイ福音書**は、**神の御子イエス・キリスト様**の死、復活、昇天、再臨が終わっても、ユダヤ人宣教から全世界宣教(**マタイ28:19、20**)へと終わらず、現代の宣教に繋がっているのです。
- ⇒しかも、**使徒マタイ**らは、いのちの危険を覚悟して宣教に行くとともに、「**神の御子イエス・キリスト様**」が、同行され、聖霊によって、今日も、主は、ともに働いておられることを暗に示すのが、**マタイ福音書**です。

本論；

◇本日、**マタイ書10章16～20節**から主の**使信**に**思い・心**vousをとめます。

◆**マタイ10章16～20節**；使徒**マタイ**は、**天の国・神との和解**を宣べ伝える使命は、主の12弟子たち、12使徒たちは派遣で終わらず、迫害を覚悟して、主とともに進めるもの(16)だと語ります。

◇**16～25節**；塚本訳◆**迫害の予告**

「16 いまわたしがあなた達を送り出すのは、羊を狼の中に入れるようなものだ。だから、蛇のように賢く、鳩のように純真であれ。

17 人々に気をゆるすな。あなた達を裁判所に引き渡し、礼拝堂で鞭打つからである。

18 また、あなた達はわたし(の弟子であるが)ゆえに、総督や王の前に引き出されるであろう。これは、その人たちと異教人とに(福音を)証しする(機会を与えられる)ためである。

19 人々があなた達を(裁判所や役人に)引き渡した時には、いかに、何を言おうかと心配するな。何を言うべきかは、その時に(神から)授かるのだから。

20 言うのはあなた達でなく、父上の霊があなた達によって言われるのである。」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**16節**；「いまわたしがあなた達を送り出すのは、羊を狼の中に入れるようなものだ」、「だから、蛇のように賢く、鳩のように純真であれ」、「羊を狼の中に入れる宣教派遣」で、「蛇のように賢く、鳩のように純真であれ」と、主は命じて言われます。

⇒蛇は、偽預言者などと思われませんが、「**12使徒たち**」は、「狼の中で宣教する」ように、求められています。霊的いのちを守るには、この世の中にいることが「賢い」のです。

⇒「鳩のように純真」、傳所鳩のように、みことばに忠実であることは、主とともに生きるのには、最善なのです。

◇**17～19節**；「人々に気をゆるすな。あなた達を裁判所に引き渡し、礼拝堂で鞭打つからである」、「あなた達はわたし(の弟子であるが)ゆえに、総督や王の前に引き出されるであろう。これは、その人たちと異教人とに(福音を)証しする(機会を与えられる)ためである」、

「人々があなた達を(裁判所や役人に)引き渡した時には、いかに、何を言おうかと心配するな。何を言うべきかは、その時に(神から)授かるのだから」、「**使徒たち**」は、「裁判所」、「総督や王」の前に引き出されますが、「何を言うべきかは、その時に(神から)授かる」、すなわち、「**御子イエス・キリスト様の聖霊**」が、弁明の機会と知恵を用意して下さるのです。

◇**20節**；「言うのはあなた達でなく、父上の霊があなた達によって言われる」と、「**使徒たち**」は、「主の宣教の機会」は、備えられます。「併し」、「いのち」まで、「保証」されていません。「主」は、「良い羊飼いですから、「永遠のいのち」は、「保証」して下さっています。

⇒私たちのいのちは、何時尽きるか保証されていません。明日かも知れません。

⇒大事なことは、主の派遣であることと、**マタイの福音書28:19、20**が約束しますように、世の終わりまで、主はともに生きて下さるのです。

⇒「だから、蛇のように賢く、鳩のように純真であれ」の命令が、主からきているのです。

## 結論；

◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓(説教)**の箇所です。

◇本日の**マタイ10:16～20**は、主が「**12使徒の派遣**」にあたり、「**迫害の予告**」と同時に、主の**聖霊の助け**を約束された箇所です。

⇒マルコ(6:30)、ルカ福音書(10:1、9:10)によると、「**12使徒の派遣**」は、新たな宣教団派遣に先立つ基盤づくりですが、**マタイ福音書**は、**神の御子イエス・キリスト様**の死、復活、昇天、再臨が終わっても、ユダヤ人宣教から全世界宣教(**マタイ28:19、20**)へと終わらず、現代の宣教に繋がっているのです。

⇒しかも、**使徒マタイ**らは、いのちの危険を覚悟して宣教に行くとともに、「**神の御子イエス・キリスト様**」が、同行され、聖霊によって、今日も、主は、ともに働いておられることを暗に示すのが、**マタイ福音書**です。

⇒「だから、蛇のように賢く、鳩のように純真であれ」、「言うのはあなた達でなく、父上の霊があなた達によって言われる」と、永遠のいのちの保証をしておられます。

⇒ヨハネ福音書10:11～12、14～15; 塚本訳

11 わたしが良い羊飼である。良い羊飼は羊のために命を捨てる。

12 (本当の)羊飼でない雇人(である羊飼)は、羊が自分のものでないので、狼が来るのを見ると、羊をすてて逃げる。・・すると狼は羊を奪い、また追い散らすのである。

14 わたしが良い羊飼である。わたしはわたしの羊を知っており、わたしの羊もわたしを知っている。

15 父上がわたしを知っておられ、わたしが父上を知っているのと同じである。そしてわたしは羊のために命を捨てる。